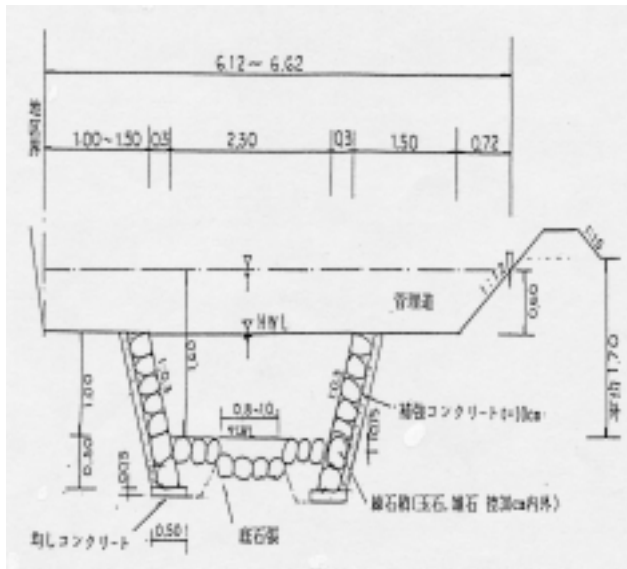


事例 NO.34		
事業の種類	農業・農村	
環境配慮の概要	自然環境の保全に配慮した排水路の整備	
事業名	団体営土地改良総合整備事業 梶矢地区	
事業主体	高宮町（県担当機関：芸北地域事務所農林局高田地方農村整備事業所）	
実施場所	広島県高田郡高宮町	
実施期間	平成5年度～平成7年度	
事業概要	全体事業費	229.5百万円
	施工区間等	幹線排水路 L = 510m
	事業の目的・経緯等	本地区では、ほ場整備の実施にあたり、計画段階から生態系に配慮するとともに親水的な整備が強く要望され、特に、幹線排水路について、こうした要望に応える整備を実施し、平成6年度に工事を完了した。
環境配慮の内容	<p>工法等</p> <p>(1) 自然石による石積護岸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線排水路の護岸を自然石による石積とし、また、河床をホタルの生態に配慮し沈砂池兼低水敷を要所に設置した。</li> <li>・ 河床は、水路勾配が1/281と緩やかなため、洗掘の恐れは少ないが、洪水時を考慮して土砂の上に玉石を敷き詰めた。低水敷は、ホタルの幼虫の生息に支障をきたさない流速30cm/sec以下の清水状態を作るため、4～5箇所の沈砂地兼窪地（H = 70cm, L = 5m, W = 1.7m）を設置した。</li> </ul> <p>(2) 水路周辺への植栽</p> <p>水路周りの植栽は地域住民により進められた。</p> <p>(3) 橋梁等構造物の自然石による被覆</p> <p>橋梁等構造物は周囲の景観と調和を図るため自然石による被覆を行った。</p> <p>(4) カワニナの引越し</p> <p>ホタルの幼虫の餌となるカワニナを地元住民等で一時避難をさせ、ホタルの育成に取り組んだ。</p>	
施工後の状況	<p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水路は生態系保全や農村景観の形成だけでなく、「ホタル祭り」や水生生物学習会の開催など、交流や学習の場として利用されている。</li> <li>・ 水路には小魚類をはじめとする多様な生物の生息も確認されている。</li> <li>・ 本事業で整備された幹線排水路を使用して、水生生物の学習会なども行なわれている。</li> </ul>	
留意点等		

(図面, 写真, 説明)



【施工標準断面図】



【整備後の石積水路】



【排水路を使用した水生生物の学習会】

出典